

令和6年度 事業報告書
2024年4月1日から2025年3月31日まで

N P O 法人とちぎ協働デザインリーグ

1 事業実施の成果

2024年度も、継続してとちぎボランティアNPOセンターの運営業務を行った他、コーディネーション力強化事業として2023年度に発行した「とちぎ自然環境活動団体82マガジン」掲載団体団体の交流機会を実施他団体との交流の機会を作ることができた。日本NPOセンター、トヨタ財団と連携して、助成金の説明会を実施することができたことは、日頃のネットワークの成果でもあり、中央の助成金を地域で知るきっかけとなった。

市民活動を支援する組織のネットワーク・勉強会を強化し、市町センターから好評をいただいている。次年度も継続して強化していく。

今後も積極的に現場に出向き分断されたつながりの再構築や、現状に合わせた新しいつながりの構築が必要である。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事 業 名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額
						(千円)
人材育成事業	ぽぽら講座	6～2月	ぽ・ぽ・ら オンライン等	職員7名	9講座 受講者137名	1, 696
	ぽぽら出前講座	4月～3月	県内	職員7名	12回 334名	
調査研究事業	NPO等におけるICT・DXの活用についての調査研究	通年	オンライン等	職員2名	県民等	0
団体支援事業	運営スタッフによる相談・コーディネート	通年	ぽぽら、県内	職員9名	県民等 232件	3, 941
	専門家による相談・コーディネート	6月28日 9月20日	佐野市市民センターこねっと 那須塩原市市民活動センターうえ るる	職員2名	NPO等担当者 延べ6団体	
	各種会議・研修等への協力・参加	随時計22回	事務所、ぽぽら	理事、職員	県民等	
	寄付文化の醸成のための活動への協力	通年	ぽぽら とちぎボランティア ネットワーク事務所 オンライン他	職員3名	社会貢献活動団体等 活動者等	
	他団体、他部局との連携強化事業	通年(9回)	シルバーハウス他	職員3名	県民等	
協働コーディネート事業	市町センターへのアウトリーチ支援	通年	ぽぽら・県内	職員7名	県内中間支援センター14か所の 職員等	5, 227
	市町センター運営組織のスタッフ情報交換会	通年(5回)	オンライン等	職員4名	中間支援センター職員等	
	災害ボランティア活動に係る連携促進	通年	県内外	職員3名	県民等	
政策提言事業	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	0
情報発信事業	センター情報誌の編集発行	7月 1月発行	ぽ・ぽ・ら他	職員8名	県民等 各3000部発行	4, 421
	ホームページ・SNSの充実および改修に係る記事作成	通年	ぽ・ぽ・らHP ブログ Facebook	職員8名	県民等	
	メールマガジンの編集発行	隔週発行	ぽぽら	職員2名	登録団体等 760(登録者数)	
	NPO、ボランティア支援のための情報収集・提供、団体情報、及び活動情報等の展示	通年	ぽぽら	職員3名	センター利用者 12,496名	
	図書等資料の管理、貸出し	通年	ぽぽら	職員2名	センター利用者	
	イベント等への参加による広報・宣伝活動、マスコミへの働きかけ	通年	ぽぽら	職員3名	県民等	
	リーフレットの編集発行	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	
社会貢献活動拠点の支援事業	安全管理及び省エネ化	通年	ぽぽら	職員7名	センター利用者 12,496名	4, 162
	施設・機器・物品等の管理、利用団体の登録、各種利用受付、メールボックス・ロッカーカーの管理、施設利用のサービス提供	通年	ぽぽら	職員7名	センター利用者 13,162名	

NPO法人とちぎ協働デザインリーグ

2024年度事業報告

2024年4月1日～2025年3月31日

2025年3月31日

総括

2024年度も、継続してとちぎボランティアNPOセンターの運営業務を行った他、コーディネーション力強化事業として2023年度に発行した「とちぎ自然環境活動団体82マガジン」掲載団体の交流会を実施し、機会を作ることができた。

日本NPOセンター、トヨタ財団と連携して、助成金の説明会を実施することができたことは、日頃のネットワークの成果でもあり、中央の助成金を地域で知るきっかけとなつた。

市民活動を支援する組織のネットワーク・勉強会を強化し、市町センターから好評をいただいている。次年度も継続して強化していく。

今後も積極的に現場に出向き分断されたつながりの再構築や、現状に合わせた新しいつながりの構築が必要である。

事業の評価等

事業名	評価	コメント	定款事業名
1-(1)相談支援業務	○	オンラインを活用するなど、相談対応の幅を拡げている。スタッフのスキルアップにつなげる研修参加を増やし、相談対応力の引き上げを継続する。市町センターとのネットワーク強化から、センタースタッフからの相談も増えている。	③団体支援事業
1-(2)施設運営・受付対応業務	○	来館される利用者に向け、新聞記事の整理分類を行い相談に対応するためのファイリングの充実に努めた。また館内掲示板を活用しNPO法人等団体の活動紹介を行った。交流広場のポップも順次更新していく。	⑦社会貢献活動拠点の支援事業
1-(3)情報収集発信業務	○	HP訪問者、ブログ閲覧数、メールマガジン登録者は、前期に比べ増加した。特にイベント・講座などの申込はメールマガジン発信後に増加する傾向にあった。フェイスブックなどのSNSからの発信も強化したい。	⑥情報発信事業
1-(4)ネットワーク運営業務	○	県内市町支援センタースタッフとの情報交換会を各センターと協働で開催できるようになった。また、派生した事業展開もでき今後の広がりが期待できる形となった。	④協働コーディネート事業
1-(5)社会貢献活動「見える化」促進業務	○	社会貢献活動の見える化として、NPO等の広報に力を入れた。出前講座では、ボランティア活動の始め方や、活動の形態(法人化の必要性)などが多い。ICT・DXは今後も実態の把握と、提供するプログラム開発が必要。	①人材育成事業
1-(6)地域協働促進業務	△	交流会は那須塩原市で開催昨年に引き続き実施できた。また、昨年の足利市は地元主体で行えるなど、事業の成果は今後も期待できる。一方、デジタルブックは、担当課との実施に関する再調整に時間を使い想定数の取材は行えなかった。	④協働コーディネート事業
2-(3) コーディネート力強化事業	○	前年度に作成した「とちぎ自然環境 活動団体82マガジン」の掲載団体交流会を実施した。マスコミ(下野新聞、宮ラジ)等の取材もありつながりを作ることができた。	②調査研究事業
2-(8) 講師派遣事業	○	下野市内の自治会長研修を実施。自治会長の悩み等を共有することができた。足利市では、前年度実施したぽぽら事業の交流会を市独自事業として実施。協力の形で自立した運営をフォローすることができた。	③団体支援事業 ④協働コーディネート事業

1 とちぎボランティアNPOセンター 管理運営業務

1 センター運営の基本方針

■ 事業の方向性(県域センターとしての役割)

(1) 次代におけるNPOの担い手育成(エンパワーメント)

- ・NPO活動の停滞を打破するため、きめ細かな相談や体系的な研修事業を通じてマネジメント人材を確保
- ・社会貢献活動への参加者が減少する現状の中、関係機関との連携協働による県民の参加促進

(2) 市町市民活動支援センターの機能向上支援

- ・市町市民活動支援センターは、地域密着の支援、場所を活用した支援、地域内協働などが得意
- ・本法人に蓄積されたノウハウや人情報、支援情報などの提供。連携推進のための積極的訪問と事業の共同開催

(3) NPO支援体制の強化・協働の取組促進のための県域ネットワークの運営

- ・県域ネットワークの強化による多様な主体の協働推進、NPOや企業、地域コミュニティへの支援拡大

2 業務一覧

(1)相談支援業務



(2)施設運営・受付対応業務



(3)情報収集・発信業務



(4)ネットワーク運営業務



(5)社会貢献活動 「見える化」促進業務



(6)地域協働促進業務



3 事業内容

(1) 相談支援業務

当法人では、これまで18年にわたる相談対応の実績を活かし、個別の相談対応や事業・運営に関する相談（休眠法人等含む）などに対して、知識経験を有するスタッフが丁寧かつ適切に対応する。併せて、相談内容に応じて、積極的に地域に出向いて支援する。また、スタッフ間で相談事例のケース検討を行い、分析結果を公開することで、相談対応を強化する。

①ニーズに応じたきめ細かな相談・コーディネート

2024年度 4月1日から3月31日

相談件数: 232 件(前年度 212件)

延べ相談時間: 93時間30分 (前年度113時間)

組織区分内訳(相談件数割合)

・NPO法人	33.2%
・個人	25.0%
・行政関係	14.2%
・ボランティア団体	9.5%
・中間支援・ボラセン	6.5%
・企業	3.0%
・その他	2.2%
・公益法人(一社・一財/公社・公財)	2.2%
・中間支援(その他)	1.7%
・教育機関	1.3%
・社協	1.3%

組織区分別ではNPO法人からの相談が一番多い(33.2%)。次いで個人からの相談(25.0%)。組織区分比率の件数順位は例年と特に変わらず。

①ニーズに応じたきめ細かな相談・コーディネート(オンライン相談も積極的に活用)

2024年度 4月～3月 組織区分・相談種別 相談件数一覧

組織区分	個人	ボランティア団体	公益法人 (一社・一財 ／公社・公財)	NPO法人	企業	行政関係	教育機関	中間支援 ・ボラセン	中間支援 (その他)	社協	その他	合計 (相談種別)
相談種別	58	22	5	77	7	33	3	15	4	3	5	232
ボランティアしたい		16			1	1						18
ボランティア求む		2	1									3
ボランティアその他		3	1								2	6
法人設立一般		2	3		2	5		2			1	15
NPO法人報告書関連				18		3		1				22
会計・税務			1		8	5		2				16
組織運営		3	2	1	16	1		4				27
事業活動		3	2		1	5	1	1				13
休眠・解散・合併等			1		3	1						5
認定NPO					3							3
NPO法人団体その他					1							1
情報照会	10	3	1	5	2	8		1	1	1		32
資金調達			3		5		1	1	1			11
施設・サービス			3		6	1			1		2	13
広報		2	1	2	1	1				1		8
傾聴		3		1	6							10
ICT・DX			1		1			1	1	1		5
その他	14			3	2	2	1	2				24

②相談やアドバイザー派遣事業等と連携したアウトリーチ支援、フォローアップ

団体等の課題に対して、スタッフが現場に出向いたり、オンライン相談を実施するなど支援を行うとともに、その後の状況について適宜フォローアップを行った。

・オンライン相談支援事例

プロボノの活動先を探す内容の相談があり、相談者は大阪府在住のためzoomを活用し、相談を受けた。

日時:2024年8月24日(土)10:00～10:30

内容:中間支援メーリングリストで情報収集を行い、おやま～るからの情報提供内容を相談者に伝え、実施検討を行った。

・アドバイザー派遣事業に係るアウトリーチ支援

アドバイザー派遣申請のあった団体に対して、スタッフが事前にアウトリーチ相談を行った。追って、任意団体の規約例等の参考資料をメール送付し、了承された。

日 時:2024年9月6日(金)13:20～14:40

会 場:小山市市民活動センター おやま～る

出席者:団体代表者1名、ぼ・ぼ・ら2名

内 容:任意団体の活動の始め方についての助言等

③テーマ別相談会

市町市民活動支援センターや関東信越税理士会栃木県支部連合会、とちぎ働き方改革推進支援センターとの共催により、会計や労務の相談会を実施する。

ア 会計税務及び労務相談会in佐野市

日 時:2024年6月28日(金)13:30～16:15

会 場:佐野市市民支援センターここねっと

専門家:税理士、社会保険労務士

相談団体:【会計税務】NPO法人2団体

【労務】NPO法人1団体

相談内容:【会計税務】①定額減税、②所得税・源泉税の計算、③理事の報酬、④収益事業

【労務】①就業規則、②パート雇用

イ 会計税務及び労務相談会in那須塩原市

日 時:2024年9月20日(金)14:30 ~ 16:15

会 場:那須塩原市市民活動センターうえるる

専門家:税理士、社会保険労務士

相談団体:【会計税務】NPO法人2団体、

【労務】NPO法人1団体

相談内容:【会計税務】①謝金の扱い、②法定調書等、③役員報酬

④固定資産評価額相違

【労務】①雇用保険・労災保険とは、②日雇い③役員と労災保険



④「相談強化月間」の実施

④-1「事業報告・総会準備相談強化月間」

- ・期間 2024年3～5月
- ・NPO法人の総会時期に合わせ、事業報告書作成や総会後の事務手続きの疑問点などについて、集中的に相談に応じた。
- ・相談件数： 14件
- ・**主な相談内容**
 - 総会案内作成、総会資料作成について 等

④-2 ボランティア活動推奨キャンペーン

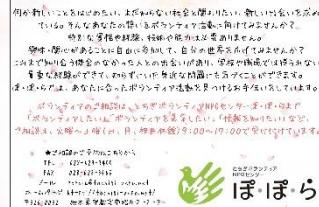
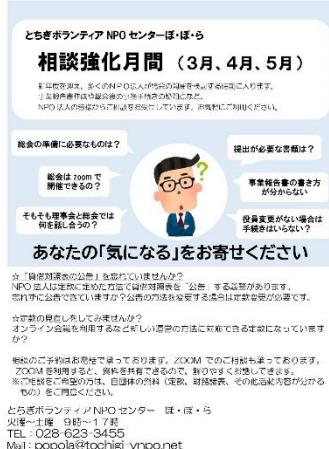
- ・期間 2025年3月～4月
- ・内容：相談対応、キャンペーンちらしの作成
- ・**ぼ・ぼ・ら館内掲示、SNS等で広報**

④-3「事業報告・総会準備相談強化月間」

- ・期間：2025年3月～5月
- ・多くのNPOが決算期を迎える3月末から総会時期に合わせ、決算・事業報告及び総会に関わる事項の疑問点に対応する。
- ・内容：相談対応、キャンペーンちらしの作成
- ・**ぼ・ぼ・ら館内掲示、SNS等で広報**

⑤相談集計分析、相談対応力の向上

- ・相談集計分析(毎月)
- ・スタッフ間でのケース会議の実施
- ・相談強化月間に合わせたスタッフ研修
- ・内部管理システムを活用した相談事例の共有



⑥協働の理解促進を図る講座等への講師派遣（出前講座）

- ・地域、学校等への講師派遣
- ・再掲：出前講座 ※詳細は(5)社会貢献活動「見える化」促進業務「出前講座」に掲載

○みんなのまちづくり交流サロン(足利)へのスタッフ派遣

足利市・足利市民活動センターが「協働促進」をテーマに標記サロンを実施するに当たり、スタッフを派遣し、協力した。

- ・日時：2025年2月8日（土）13:30～16:00
- ・会場：足利市生涯学習センター
- ・参加者：20名

＜所感等＞

- ・2024年度に、ぽ・ぽ・ら主催により実施した交流会のノウハウを、足利市(及び足利市民活動センター)が上手く継承し成功していた。
- ・発表の2団体とも目的が明確で、学校や地域等との協働により活動の幅を広げており、大変参考になる事例だった。
- ・特に印象的だったのは、「なければ自分たちで作る」「大谷効果で学童くらぶが空前の野球ブーム」「活動している自分たちが楽しい」等々。
- ・「つながりを求める」意識が高く、意欲的な参加者が多かった。
- ・今後、足利市でサロンが定着していくことを期待したい。



⑦スタッフのスキルアップ(研修・会議等参加)

No	月 日	内 容	主 催 者
1	4/11(木)	NPO・市民活動支援共有ミーティング「わくわく会議」	特定非営利活動法人日本NPOセンター等
2	4/25(木)	令和5年度市町NPO・協働担当者会議	栃木県県民協働推進課
3	6/6(木)	NPO・市民活動支援共有ミーティング「わくわく会議」	特定非営利活動法人日本NPOセンター等
4	6/28(金)	困難な問題を抱える女性支援者等セミナー	栃木県人権男女共同参画課
5	6/29(土) 7/2(火)	NPO会計セミナー	とちぎボランティアNPOセンター
6	7/1(月)	災害ボランティアネットワーク会議	栃木県社会福祉協議会
7	7/9(火)	これからの中間支援を考えるシンポジウム	中間支援機能に関する研究会、「これからの中間支援を考えるシンポジウム」実行委員会
8	7/11(木)	とちぎの環境と子どもの未来を考える会(第1回)	環境省関東地方環境事務所
9	8/1(木)	NPO・市民活動支援共有ミーティング「わくわく会議」	特定非営利活動法人日本NPOセンター等
10	8/7(水)	秋田山形水害情報共有会議	JVOAD、支援P
11	8/23(金)	NPO会計サポート・コミュニティ ~あるべき会計サポートを語り合おう~	NPO会計基準協議会
12	8/28(水) 8/29(木)	NPO支援センター 将来を展望する会	日本NPOセンター
13	9/24(火)	とちぎの環境と子どもの未来を考える会(第2回)	環境省関東地方環境事務所

No	月 日	内 容	主催者
14	10/3(木)	NPO・市民活動支援共有ミーティング「わくわく会議」	特定非営利活動法人日本NPOセンター等
15	10/17(木)	NPO法勉強会(情報交換会スピノフ企画) 第1回	とちぎボランティアNPOセンター
16	10/22(火)	ともしび NPO支援者の仕事と姿勢「事業の評価に伴走する」	日本NPOセンター
17	10/25(金)	NPO法勉強会(情報交換会スピノフ企画) 第2回	とちぎボランティアNPOセンター
18	11/8(金)	まちあるき研修会in鹿沼	栃木県コミュニティ協会
19	11/17(日)	ボランティアコーディネーション力検定2級	日本ボランティアコーディネーター協会
20	11/22(金)	ともしび・ひみつゼミ合同キックオフ会議	日本NPOセンター
21	11/22(金)	NPO法勉強会(情報交換会スピノフ企画) 第3回	とちぎボランティアNPOセンター
22	11/28(木)	NPO法勉強会(情報交換会スピノフ企画) 第4回	とちぎボランティアNPOセンター
23	11/30(土)	市民活動と民主主義について考える勉強会	ぎふNPOセンター
24	12/5(木)	「NPOで働く人の会」説明会	日本NPOセンター
25	12/10(火)	ともしび・ひみつゼミ	日本NPOセンター
26	12/13(金)	NPO会計サポート・コミュニティ ~あるべき会計サポートを語り合おう~	NPO法人会計基準協議会
27	12/26(木)	NPO法勉強会(情報交換会スピノフ企画) 第5回	とちぎボランティアNPOセンター
28	12/24(火)	災害ボランティアセミナー	栃木県県民協働推進課

No	月 日	内 容	主催者
29	12/26(木)	輝くとちぎフォーラム	栃木県人権男女共同参画課
30	1/17(金)	コミュニティカレッジ③	栃木県コミュニティ協会
31	2/6(木)	わくわく会議「指定地域共同活動団体について」	特定非営利活動法人日本NPOセンター等
32	2/6(木)	栃木県社会貢献活動促進懇談会	栃木県県民協働推進課
33	2/7(金)	事務力検定	NPO会計基準協議会
34	2/12(水)	緊急集会「災害支援における官民連携に関する意見交換会」	
35	2/14(金)	NPO会計サポート・コミュニティ	NPO会計基準協議会
36	2/15(土)	コミュニティカレッジ④	栃木県コミュニティ協会
37	2/22(土) 23(日)	JVCC in京都(オンライン)	認定NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会/JVCC実行委員会
38	2/25(火)	ともしび・ひみつゼミ	日本NPOセンター
39	2/27(木)	地域研修会(生活学校フォーラム)	栃木県生活学校
40	2/27(木)	NPO法勉強会(情報交換会スピノフ企画) 第6回	とちぎボランティアNPOセンター
41	3/9(日) 10(月)	ともしび・ひみつゼミ	日本NPOセンター
42	3/15(土)	NPOのためのアイスブレイカー研修会	NPO法人おおきな木 /日光市民活動支援センター
43	3/27(木)	NPO法勉強会(情報交換会スピノフ企画) 第7回	とちぎボランティアNPOセンター

(2) 施設運営・受付対応業務

来館者が、快適かつ安全安心に施設設備を利用できるよう努め、社会貢献活動拠点機能の充実を図る。

(2)施設運営・受付対応業務

①施設・機器・物品等の管理

- ・館内の各種サイン類や展示レイアウト等を利用者目線で見直し、更新した。
- ・各種利用受付、鍵の貸出し等
- ・利用団体情報の登録変更・削除等
- ・業務に係る書類は保存年限を定め、簿冊として鍵付きロッカーで保存した。
- ・メールボックス・ロッカーの管理(事務所機能の提供)
- ・図書や各種資料、書類(定款・事業報告書含む)の整理
- ・Wi-Fiの管理
- ・市町市民活動支援センターや中間支援機関の参考になる運営を目指す。(スタッフ会議のテーマとして隨時検証)

②施設利用月次集計・分析 (2024年4月1日～2025年3月31日)

月次の利用状況を取りまとめ、年度ごとに集計分析及び改善を行い、県と協議の上、サービス向上に努める。

- | | | |
|---------------|---------|--------------|
| ・来館者数 | 12,496名 | (前年 13,162名) |
| ・研修室利用件数 | 446件 | (前年 479件) |
| ・作業室(印刷機)利用件数 | 54件 | (前年 80件) |
| ・センター利用登録団体 | 406件 | (前年 412件) |
| ・メールボックス利用登録数 | 23件 | (前年 27件) |
| ・ロッカー利用登録数 | 34件 | (前年 36件) |

③安全管理及び省エネ化

- ・県庁内で実施した防災訓練、消火器操作訓練に参加
- ・情報管理責任者を置くとともに、職員が使用するPCにパスワードを個別に設定し、定期的な変更をもって不正アクセスを防止。
- ・研修室等のエアコンなど、適正な室温での利用の推奨

(2)施設運営・受付対応業務

④利用者の利便性の向上

- ・館内への「ご意見箱」の設置、助成金案内やイベント案内の豊富で見やすい掲示でサービス向上に努めた。
- ・館外掲示板の活用
- ・館内掲示板にて新聞掲載の団体活動紹介を行った。
- ・季節感のある小物の展示で、居心地のよい空間づくりを目指した。



栃木県庁インター生に
ぽぽらを案内

(3)情報収集・発信業務

県内NPO等の活動や全国の先進事例、行政、企業等による支援情報等を収集し、ホームページやSNS、情報誌など、発信に適した媒体を活用し、積極的に発信を行うことにより、団体の活動を支援するとともに、社会貢献活動や協働に対する県民の理解を深め、共感を得る。

(3)情報収集・発信業務

①NPO、ボランティア支援のための情報収集・提供、団体情報、及び活動情報等の展示

- ・各種イベント、講演会、研修や助成金などに関する情報の収集

②多様なツールによる情報発信

- ・ホームページ・SNSの充実(ブログ、フェイスブック等)
- ・メールマガジンでタイムリーな情報提供
- ・ホームページ上で情報誌バックナンバーを公開
39号まで掲載済み
- ・貸出図書 6冊

■主な情報発信先

NPO法人、ぽぽら登録団体、県内市町センター

地域協働推進員、社会福祉協議会、経済団体

青年会議所、図書館、公民館、高校、大学、市町担当課、県庁各課、出先機関、他県NPO担当課、県外県域市民活動支援センター、マスコミ等

2024年4月～2025年3月の前年との比較

項目 年度	2024年度	2023年度	比 較
HP訪問者数	101,039	75,770	133.3%
ブログ閲覧数	68,456	57,789	118.5%

(3)情報収集・発信業務

○Facebook

フォロワー数 110人 (2025年3月31日現在)

<Facebookで反応の良かった記事>

- ・5月16日 ぽ・ぽ・らFacebook再始動
- ・5月24日 2024年度中間支援団体等ネットワーク会議
- ・6月 5日 ぽぽらインターナン生がぽぽら新刊図書を紹介
- ・6月15日 県民の日県庁でワークショップ開催
- ・8月22日 シルバー大学北校「市民活動と繋がろう」講座
- ・10月18日 「見える化」実践講座
- ・11月5日 「若者わくわく座談会」のおしらせ

○メールマガジンの配信 月2回発行

今年度 552号から577号 3月末時点

- ・メールマガジンの記事よりイベントや研修への申込があった

項目	年度	2025年 3月末	2024年 3月末	比 較
登録者数		760	587	129.5%

(3)情報収集・発信業務

○情報誌の編集発行(3000部)

使送 155団体 596部 郵送 1406団体 2114部

【No.38夏号】 2024年7月発行

○特集:能登半島地震から考える災害ボランティア

災害が起きたときに出来る活動は、幅広くある。遠くからでも出来る支援を、個人でもグループでも、継続して行うことが重要。自分たちに出来ることを考える。

- ・まずは正しい情報収集を
- ・災害ボランティア活動
- ・様々な支援のカタチ
- ・一人ひとりが出来ることを

○『協働ちょっといい話』

寄稿: NPO法人CCV

理事長 福田由美氏

概要:協働は熱い思いをもつ一人と一人の出会いから

○『キラっとちぎ人』

取材先:NPO法人古賀志山を守ろう会 理事長 池田正夫氏

サブテーマ:「古賀志の里を想う」

取材先:NPO法人とちぎ多胎ネット 理事長 南部裕子氏

サブテーマ:「安心して多胎育児ができる社会を」



(3) 情報収集・発信業務

○『ぽぽら広場』

①サブテーマ:「ゆるつな交流サロンin足利」

ぽ・ぽ・らと足利市民活動センター、足利市、栃木県の4者協働によるサロン。第1部「事例発表」、第2部「交流会」という構成。以下、3団体から事例発表

- ・NPO法人フードバンクあしかが
 - ・一般社団法人からりこ舎
 - ・ウェルシア薬局株式会社
 - ②那須塩原市 & 下野市 那須塩原市民活動センターの愛称が決定「うえるる」
 - ③下野市市民活動センターの愛称が決定「しもぶら」

○『裏表紙』

- ①: 令和6(2024)年度「輝く“とちぎ”づくり表彰」募集について
 - ②: ぽ・ぽ・ら新Facebookについてのご案内

(3) 情報収集・発信業務

【No.39冬号】 2025年1月発行

○特集:若者わくわく座談会

11月29日(金)宇都宮大学陽東キャンパスで実施した座談会内容。

登壇者、学生インタビュアー、コメントーターからの感想と講評。

○『協働ちょっとといい話』

寄稿: はが路100km徒步の旅団長 鳴井大輔氏

概要: 気付いたときには当たり前のように身近にあった「協働」

○『キラっとちぎ人』

取材先:認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク県北事務所代表 安井将太氏

サブテーマ：地元密着型×Youtubeで地元を盛り上げる

取材先:ともしびプロジェクト宇都宮支部メンバー 南谷珠安氏

○『ぽぽら広場』

①サブテーマ：助成金合同説明会

②サブテーマ：ここが重要！助成金獲得のコツ

○『裏表紙』

①: 令和6年度輝く“とちぎ”づくり表彰受賞取組のご紹介

②:相談強化月間(3月～5月)のお知らせ、全館閉庁日の駐車場案内



(3)情報収集・発信業務

○イベント等への参加による広報・宣伝活動

・県民の日記念イベントへの出展

6月15日(土)県庁舎本館15階展望ロビー

新聞エコバック作りワークショップを開催



・シルバー大学校マッチング授業での広報・宣伝

8月30日(金)中央校 ぽ・ぽ・ら事業の紹介(参加卒業生120名程度)

参加団体の紹介(3団体)、

市民活動支援センター紹介:ふらっと、コラボーレもおか

9月11日(水)北校 ぽ・ぽ・ら事業の紹介(参加卒業生50名程度)

9月12日(木)南校 ぽ・ぽ・ら事業の紹介(参加卒業生70名程度)

市民活動支援センター紹介:くらら



・宇都宮大学コラボレーションフェアの広報協力とブースへの出展

9月20日(金) マロニエプラザにて開催

出展者:298団体

内容:パネル展示「栃木県中間支援ネットワーク概論」と

ぽ・ぽ・ら事業の説明、セミナーへの参加。

市民活動支援センターでは、さくらいふ、コラボーレもおかが出展。



(3)情報収集・発信業務

- ・県立図書館連携展示(2階公開資料室)への展示協力

10月24日(木)～11月27日(水) 県民協働推進課

- ・令和6年度第8回輝くとちぎづくり表彰式への出席

11月6日(水) 栃木県昭和館正庁



- ・県民協働推進月間(11月)の周知 展示協力

11月15日(金)～29日(金) 県民協働推進課

- ・とちぎコーポフェスタでの広報・宣伝

11月24日(日) マロニエプラザ

- ・12月 寄付月間

12月3日(火)～28日(土) 寄付月間広報ポスターの館内展示

ホームページ・メールマガジン・SNS等で情報発信



(3)情報収集・発信業務

・ミライチャレンジプロジェクト事業

活動成果報告会・とちぎ若者ミーティングでのブース出展、広報

2025年1月18日(土) 栃木県総合文化センター



(4) ネットワーク運営業務

地域における社会貢献活動や協働の取組を支援するため、県域センターとして、市町市民活動支援センターや民間の中間支援組織等とのネットワークの強化を図る。また、NPOやボランティア、企業、行政、研究教育機関、地縁団体等の間での情報交換や事業協力を推進する。

(4) ネットワーク運営業務

I 市町市民活動支援センターとの連携

1 ネットワーク会議の開催

市町市民活動支援センターを中心に、民間の中間支援組織、県社会福祉協議会、県総合教育センター等によるネットワーク会議を実施し、各センター間の課題の共有や意見交換を通して、相互交流・事業協力等の推進を図る。

- ・2024年5月24日(金) 開催
主に昨年度トピックスと今年度主要事業について共有。

2 情報交換会の開催

(1) 情報交換会

上記ネットワーク会議メンバーのオンラインによる会議。各センタースタッフ間で共に学び合うことで、情報共有やスタッフ間の連携を図る。今年度は対面、オンライン(Zoom)を併用するハイブリッド方式を採用する。

市町センター等を持ち回りで会場に設定し、センター間の連携を促す。

Googleスプレッドシート、ドキュメントを活用したクラウド型の情報共有を行う。

- ・第1回 2024年6月14日(金) 対面、オンライン ハイブリッド方式

会場 ぽ・ぽ・ら

参加者 会場3名 オンライン8名

テーマ 2024年度の情報交換会の進め方、第2回内容企画

(4) ネットワーク運営業務

・第2回 2024年8月9日(金) 対面、オンライン ハイブリッド方式

会場 かぬま市民活動広場ふらっと

午前 鹿沼街歩き企画

参加者 10名(鹿沼市協働のまちづくり課職員1名含む)

実施理由:

他センターを訪問する機会をつくる、その地域の特徴を知る、各地域の特性を知り、災害時等に備えて土地勘をつける、地域に根付いた多様な主体からの聞き取りのプロセスを中間支援の役割として取り入れる。

内容: ふらっと周辺のまちづくりに関する施設訪問。Center、コモンズを見学。

午後 情報交換会

参加者 対面10名 オンライン1名

テーマ 午前の部、街歩き企画のふりかえり、意見交換。第3回以降の企画とスケジュール確認。

・第3回 2024年10月25日(金) 対面、オンライン ハイブリッド方式

会場 ぽ・ぽ・ら

参加者 対面6名 オンライン4名

前半 さくらいふ提案:「なんじやもんじや」ボランティア募集について、くらら提案:日本NPOセンターNPOスクール「ともしび」第6回NPO支援者の仕事と姿勢「事業の評価に伴走する」研修を受けての意見交換会について
後半 まちぴあ提案:「"場づくり"から考える支援センターの役割と機能」講座

・第4回 2024年12月13日(金) 対面、オンライン ハイブリッド方式

会場 小山市市民活動センターおやま～る

参加者 対面11名 オンライン4名

午前 小山駅西口エリア街歩き企画

午後 情報交換会

テーマ「相談」「ネットワーク」

(4) ネットワーク運営業務

- ・第5回 2025年2月21日(金) 対面、オンライン ハイブリッド方式
- 会場 真岡市市民活動推進センター コラボーレもおか
- 参加者 対面13名 オンライン5名
- 午前 真岡市複合交流拠点施設「monaca」、まちづくり拠点「コレカラ」見学
- 午後 情報交換会
- テーマ「スタッフ育成」

(4)ネットワーク運営業務

(2)スピンオフ企画

情報交換会の中から特定のテーマを取り上げ、参加希望者による検討会・勉強会を設ける。

・「これからの中間支援を考えるシンポジウム」オンデマンド配信を視聴しての意見交換会 2024年7月12日(金)

企画 まちぴあ鈴木里恋氏

参加者 オンライン5名

※「これからの中間支援を考えるシンポジウム」2024年7月9日(火)

主催: 中間支援機能に関する研究会、「これからの中間支援を考えるシンポジウム」実行委員会

事務局: 一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム

・NPO法勉強会(不定期開催)

企画 市町センター若手スタッフ

参加者 オンライン5名 (ぽぽら、くらら、大田原市、おやま～る、ふらっとスタッフ)

内容

特定非営利活動促進法の手引き NPO法人編(編集・発行 栃木県県民生活部県民文化課 令和4年3月)の内容を読み進め、理解促進に努める。

ヒアリング会 2024年9月27日(金)

第1回勉強会 10月12日(木)

第2回 10月25日(金)

第3回 11月22日(金)

第4回 11月28日(木)

第5回 12月26日(木)

第6回 2月27日(木)

第7回 3月27日(木)

(4) ネットワーク運営業務

3 定期訪問・事業の共同開催

(1) 定期訪問

県内14か所の市民活動支援センターを訪問し地域課題の把握、取組などについて意見交換し、連携強化した。

2024年4月26日(金)下野市市民活動センターしもぷら、真岡市市民活動推進センター「コラボーレ」もおか

2024年5月 2日(金)さくら市活動支援センター「さくらいふ」、大田原市生涯学習センター、
那須塩原市市民活動センター「うえるる」

2024年5月 7日(火)栃木市市民活動推進センター「くらら」

2024年5月 9日(木)壬生町市民活動支援センター「みぶりん」

2024年5月16日(木)足利市民活動センター、佐野市市民活動センター「ここねっと」

2024年5月21日(火)かぬま市民活動広場「ふらっと」、日光市民活動支援センター

2024年5月25日(土)宇都宮市まちづくりセンター「まちぴあ」

2024年5月28日(火)野木町ボランティア支援センター「きらり館」、小山市市民活動センター「おやま～る」

(2) 臨時訪問

2024年9月11日(水)さくら市活動支援センター「さくらいふ」
「さくらいふ」主催イベントのボランティア募集について意見交換

(3) 事業の共同開催(再掲)

ア 会計税務及び労務専門家相談会in佐野市

日 時: 2024年6月28日(金)13:30～16:15

共 催: 佐野市市民活動支援センター「ここねっと」

イ 会計税務及び労務専門家相談会in那須塩原市

日 時: 2024年9月20日(金)14:30～16:15

共 催: 那須塩原市市民活動センター

(4) ネットワーク運営業務

ウ 助成金合同説明会

日 時: 2024年10月11日(水) 13:00～16:30

協 力: 宇都宮市まちづくりセンターまちぴあ
さくら市市民活動センター
真岡市市民活動推進センター
小山市市民活動センター
栃木市市民活動推進センター
佐野市市民活動センター
那須塩原市市民活動センター

エ 「うえるる」から始まる交流会in那須塩原(地域協働推進事業再掲)

日 時: 2025年3月1日(土) 13:30～

共 催: 那須塩原市市民活動センター

(4) 新設センター、未設置市町へのアウトリーチ支援

未設置市町について、情報収集、現状分析等を行い、必要な支援を提案し、実施する。

<未設置市町>

矢板市、那須烏山市、上三川町、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町

日 時: 2024年7月10日(水) 10:00～11:00

会 場: ぼ・ぼ・ら

参加者: 那須烏山市まちづくり課なすから暮らし推進グループ職員

内 容: 係で行う中間支援的機能、NPO等の活動を紹介する冊子等について意見交換を行った。

(4) ネットワーク運営業務

II 関係機関との連携

1 公民館、社会福祉協議会との連携

(1) 栃木県社会福祉協議会との共同事業の実施

ボランティアルーム(栃木県ボランティア活動振興センター)との共催により、「ぽらんていあカフェ」として、今年度は「新聞エコバッグづくり」と「リメイク帽子づくり」を実施し、ボランティア活動へのきっかけづくりとSDGを考える機会とする。新聞エコバッグは県内の子ども食堂等に、リメイク帽子は済生会宇都宮病院に寄付する。

ア 事前打合せ

・日 時: 2024年5月15日(水) 10:00~11:00

・会 場: 済生会宇都宮病院

・参加者: 県社協1名、ボランティアルーム2名、ぽぽら1名

・内 容: リメイク帽子の寄付を済生会宇都宮病院に打診し、了承された。

イ 新聞エコバッグづくり

・日 時: 2024年6月21日(金) 10:30~12:00

・会 場: 県社協ボランティアルーム

・参加者: 22名(事務局含む)

ウ 事前打合せと試作(リメイク帽子づくり)

・日 時: 2024年9月18日(水) 13:30~15:30

・会 場: 県社協ボランティアルーム

・参加者: 学生4名、県社協3名、ボランティアルーム2名、ぽぽら2名

・内 容: 栃木県社会福祉協議会オープンカンパニーの一環として、参加学生に対して、共同事業の趣旨、ぽ・ぽ・らの概要を説明するとともに、リメイク帽子の試作を行った。



新聞エコバッグづくり

(4) ネットワーク運営業務

エ リメイク帽子づくり・テレビ取材

- ・日 時: 2024年11月22日(金) 10:00~12:00
- ・会 場: 県社協ボランティアルーム
- ・参加者: 14名、県社協2名、ボランティアルーム2名、ぽぽら2名
- ・内 容: 日本テレビから寄付された24時間テレビ「チャリTシャツ」を活用したリメイク帽子(ケア帽子)づくりを行った。



定員15名に対し20名を超える参加希望があったが、会場の都合から15名で実施。

当日は日本テレビが取材を行い、ぽぽらからの趣旨説明や参加者へのインタビュー等があった。

※ 1月19日(日)の「日テレアップDate!」にて放映

オ リメイク帽子の贈呈式 および 配架

- ・日 時: 2024年12月11日(水) 10:00~10:30
- ・会 場: 済生会宇都宮病院
- ・参加者: 県社協3名、ボランティアルーム2名、ぽぽら1名
- ・内 容: 済生会宇都宮病院会議室にて、栃木県社会福祉協議会地域福祉・ボランティア課小関課長より済生会宇都宮病院小林看護部長に50個を贈呈した。その後1階西側のオープンスペースに用意されたテーブル配架(ボランティアルームスタッフ作成の新聞エコ籠3個)。周囲の方々は、配架作業の時から興味を持たれており、帽子は当日で全てお持ち帰りとなった。



リメイク帽子の贈呈式

カ 今年度事業の振り返り及び来年度の企画検討

- ・日 時: 2025年1月10日(金) 10:30~11:30
- ・会 場: 県社協ボランティアルーム
- ・参加者: 県社協2名、ボランティアルーム2名、ぽぽら2名
- ・内 容: ボランティアルーム事業全5回のうち2回をぽぽらとの共催でリメイク帽子づくりとする。新たな寄付先も検討し打診することとする。

(4) ネットワーク運営業務

2 他部局や県内大学、シルバー大学校等との連携

(1) 県内大学との連携

① 社会教育主事講習連携事業(再掲)

文部科学省主催、宇都宮大学実施の社会教育主事講習(7月22日(月)～(8月8日(木))のうち8月2日に実施した、自治会役員への聞き取り調査に係る、市町センターへの協力依頼から、当日の実施に係る部分を、大学・市町センター等と協力して実施した。

(宇都宮大学から、NPO法人とちぎ協働デザインリーグあてに協力依頼があったもの)

日時: 2024年8月2日(水)8:40～17:30

会場: 宇都宮大学及び市町センター

協力センター: 足利市市民活動センター、かぬま市民活動広場、真岡市市民活動推進センター、下野市市民活動センター、さくら市市民活動センター、那須塩原市市民活動センター、他協力者2名

② 宇都宮大学コラボレーションフェアへの参加(再掲)

9月20日(金) マロニエプラザにて開催

内容: パネル展示 栃木県中間支援ネットワーク概論

(2) 栃木県シルバー大学校との連携

① シルバー大学校「市民活動と繋がろう」講座

「市民活動と繋がろう講座」では市町市民活動センターを巻き込んでのネットワークを強化できた。

・日時及び会場: 2024年8月21日(水): 北校 参加者: 43期生13名

・内容: ボランティア・NPOとは

 同意形成～コンセンサスゲーム

 さくら市市民活動センターさくらいふの紹介

 市民活動団体の紹介 3団体

(4) ネットワーク運営業務

シルバー大学「市民活動と繋がろう」講座

・日時及び会場: 2024年10月22日(火)北校 参加者: 44期生24名

・内容: ボランティア活動を始めよう

同意形成～コンセンサスゲーム

さくら市市民活動センターさくらいふの紹介

市民活動団体の紹介 3団体

・日時及び会場: 2024年10月24日(木)中央校 参加者: 44期生22名

・内容: ボランティア活動を始めよう

同意形成～コンセンサスゲーム

宇都宮市まちづくりセンターまちぴあの紹介

市民活動団体の紹介 3団体

・日時及び会場: 2025年 1月24日(金)南校 参加者: 44期生20名

・内容: ボランティア活動を始めよう

同意形成～コンセンサスゲーム

とちぎ市民活動推進センターくららの紹介

市民活動団体の紹介 3団体

今後の実施予定

・2025年 5月21日(水)中央校 水曜コース

② シルバー大学校の社会貢献活動マッチング事業参画

以下の各校ともブース出展しづ・ぽ・らを紹介

2024年8月30日(金): 中央校

2024年9月11日(水): 北校

2024年9月12日(木): 南校



(4) ネットワーク運営業務

3 災害ボランティア活動に係る連携促進

(1) 令和6年能登半島地震への対応

日 時: 2024年4月19日～21日

場 所: 石川県輪島市町野町

内 容: とちぎボランティアネットワークが実施するボランティアバスに同行、ボランティア活動とともに現地状況等を調査した。



(2) 災害ボランティア活動連絡会議

日 時: 2024年5月31日 (金) 13:30～15:30

内 容:

- ①令和5(2023)年度事業結果及び令和6(2024)年度事業予定の共有について
- ②令和6年能登半島地震への対応について

(3) 令和6年度災害ボランティアネットワーク会議

日時: 2024年7月1日(月)13:10～16:15

主催: 栃木県社会福祉協議会

場所: とちぎ福祉プラザ 1階多目的ホール

内容: 平時からの顔の見える関係づくりを目的とする。

事例発表「県内の協働事例について」

グループワーク「災害ボランティアセンター開設準備と運営時の支援課題とお互いの強みを活かした連携を考える」

令和6年度災害ボランティア相互支援台帳を作成。

(4) 宇都宮大学コラボレーションフェア地域防災セッション

日時: 2024年9月20日(金)13:30～15:30

主催: 宇都宮大学地域デザインセンター・地域防災部門

場所: マロニエプラザ展示ホール

内容: 民間組織が担う地域防災の新展開。事例報告と会場参加型のパネルディスカッション。

(4) ネットワーク運営業務

④ 地域デザイン研究会「史料ネットと災害ボランティアとの連携の構築に向けて」

日時: 2025年3月3日(月) 13:00~16:00

場所: 宇都宮大学陽東キャンパス8号館1階8-102打合せ室

内容: とちぎ歴史資料ネットワーク(とちぎ史料ネット)の活動と災害ボランティアの現状確認と連携できうこと

参加者: とちぎ歴史資料ネットワーク、宇都宮大学、栃木県社協、ぽぽら、下野新聞(取材)

⑤ 募金箱の設置

被災地支援・災害ボランティア支援として募金箱設置

- ・ボラサポ・令和6年能登半島地震 (寄付済募金額 10,131円)
- ・ボラサポ・令和6年7月大雨災害 (寄付済募金額 33,334円)
- ・ボラサポ・令和6年能登地震、豪雨 (寄付済募金額 10,604円)
- ・ボラサポ・令和6年能登地震、豪雨 募集中(2025年6月30日まで)
- ・ボラサポ・令和7年大船渡火災 募集中(2025年8月31日まで)

⑥ 災害に関する情報収集・発信

災害発生の都度、全国社会福祉協議会ホームページ等から情報を収集し、ぽぽらホームページやSNS、メールマガジン等により、適時適切に情報発信を行っている。

ホームページ掲載状況

- ・令和6年9月20日からの大雨による災害(第1報)
- ・令和6年能登半島地震 被災地支援情報
- ・令和6年7月25日からの大雨の情報

(4) ネットワーク運営業務

4 関係機関の委員等への就任

No	月 日	内 容	主 催 者	担 当
1	2024年 4/25(木)	宇都宮市民大学運営委員会	宇都宮市	
2	5/20(月)	栃木県コミュニティ協会総会・研修会	栃木県コミュニティ協会	
3	5/26(日)	鹿沼市市民協働モデル事業審査会	鹿沼市	
4	5/26(日)	鹿沼市ふるさと納税公益活動支援事業審査会	鹿沼市	
5	5/26(日)	認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク総会	認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク	
6	6/25(月)	栃木県社会福祉協議会評議員会	栃木県社会福祉協議会	
7	6/26(水)	全国NPO事務支援カンファレンス 総会	全国NPO事務支援カンファレンス	
8	6/21(金)	日本NPOセンター 総会	日本NPOセンター	
9	8/8(金)	宇都宮市ふるさと納税を活用した公益活動支援事業審査会	宇都宮市	
10	9/16(月)	栃木市夢ファーレ実績報告会	栃木市	
11	11/8(金)	とちぎコープ助成金審査会	とちぎコープ	

(4) ネットワーク運営業務

4 関係機関の委員等への就任

No	月 日	内 容	主催者	担当
12	11/29(金)	宇都宮市民大学運営委員会	宇都宮市	
13	12/23(月)	まちぴあオフィス審査会	宇都宮市(まちぴあ)	
14	12/19(木)	花王ハートポケット助成金審査会	とちぎコミュニティ基金	
15	1/21(火)	小山市市民活動センター運営調整会議	小山市	
16	1/28(火)	とちぎ夢ファーレ一次審査会	栃木市	
17	2/12(水)	とちぎUIJターン促進協議会	栃木県	
18	2月未定 3月未定	とちぎコープ助成金審査会、プレゼンテーション	とちぎコープ	
19	2/14(金)	栃木県経済同友会表彰選考委員会	栃木県経済同友会	
20	3月1日(土)	とちぎ夢ファーレ二次審査会	栃木市	
21	3月24日(月)	栃木県社会福祉協議会評議員会	栃木県社会福祉協議会	

(5) 社会貢献活動「見える化」促進業務

潜在的参加者層に共感してもらうための団体の「ストーリー化」や、事業や会計などの透明化を図る「ガバナンス強化」により、信頼性の確保を図る。

また、市町市民活動支援センターや社会福祉協議会等と連携し、活動団体の情報を積極的に発信することで、次代の担い手育成・確保を目指す。

(5)社会貢献活動「見える化」促進業務

I 社会貢献活動に関する情報発信チャンネルの拡大

1 NPOの発信力強化プロジェクト

①出前講座(アドバイザー派遣含む)

No	依頼元	テーマ等	日 時	会 場	参加者数
1	認定NPO法人 まごの手	協働のコツ	2024年4月14日(日) 13:30~15:30	まごの手	20名
2	佐野市市民活動センター	NPO入門講座	2024年5月18日(土) 10:00~12:00	佐野市市民活動センター ここねっと	5名
3	宇都宮市	緑化ボランティア講座	2024年6月12日(水) 9:30~12:00	宇都宮市中央生涯学習センター	10名
4	とちぎ市民活動推進センター	法人化しなくても「任意団体でどこまでできるの?」	2024年7月20日(土) 14:00~16:00	とちぎ市民活動推進センター くらら	11名
5	認定NPO法人 まごの手	高齢者との関わり方・ボランティア講座	2024年8月3日(土) 13:30~15:30	佐野市市民活動センター ここねっと	21名
6	足利市民活動センター	「NPOの運営」	2024年10月24日(木) 14:00~16:00	足利市民活動センター	11名
7	足利市民活動センター	地域のつながり	2024年11月14日(木) 13:00~15:00	足利市民活動センター	5名
8	白鷗大学	地域福祉論	2025年1月16日(木) 10:30~12:00	白鷗大学本キャンパス	200名
9	佐野市市民活動センター	助成金で活動を広げよう!	2025年1月26日(日) 10:00~12:00	佐野市市民活動センター ここねっと	8名

(5)社会貢献活動「見える化」促進業務

No.	依頼元	テーマ等	日 時	会 場	参加者数
11	真岡市市民活動推進センター コラボーレもおか	組織の作り方	2025年2月1日(土) 13:30～15:30	真岡市市民活動推進センター コラボーレもおか	5名
12	地域学校協働本部	地域学校協働本部事業への助言 リーグ副理事長 廣瀬隆人	2025年3月4日(火) 18:00～20:00	黒磯公民館	38名

② 「ICT活用・DX推進調査」の実施

2 市民活動支援センターにおけるICT活用支援の先進事例調査・情報共有

3 社会福祉協議会・公民館等と連携した社会貢献活動の情報発信

県内の社会福祉協議会や公民館等と連携し、活動団体や事業の情報収集を行い、発信することで、社会貢献活動の「見える化」を促進していく。

①ほ・ほ・ら情報誌の発送

社会福祉協議会(44)や公民館(171)あてに発送

②出前講座の実施(再掲)

公民館(2)からの依頼に応じ、出前講座を実施した。

(5)社会貢献活動「見える化」促進業務

II NPO・社会貢献活動への共感の獲得、信頼性の向上

1 ぽ・ぽ・ら講座の実施

NPO等の活動の「見える化」・ストーリー化の支援、健全な団体運営(ガバナンスの向上)による信頼・共感の確保のため、多様な講座を実施する。

①楽しく学ぶ会計マスター！

初心者向けNPO会計入門講座

日 時: ①2024年6月29日(木)13:30～16:30

②2024年7月2日(火)13:30～16:30

会 場: とちぎボランティアNPOセンターぽ・ぽ・ら

参 加 者: ①6名

②5名

内 容: NPO会計の基礎、日常業務で行うこと、
帳簿を付けてみよう

参 加 者 の 感 想 等:

- ・帳簿のつけ方を実践できてよかったです。
- ・複式簿記について理解が深まった。



(5)社会貢献活動「見える化」促進業務

②NPOの「見える化」実践講座～ICT活用で発信力強化～

日 時	内 容	講 師(案)	会 場	参加人数
①11月21日(木) 13:30～16:30	・自団体を分かりやすく伝えよう	認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター 事務局長 吉田 建治氏		15名
②12月6日(金) 13:30～16:30	発信力強化① ・魅せる！チラシづくり ・ワークショップ	真岡市市民活動推進センター スタッフ 檀渕 聰氏	ほ・ほ・ら	12名
③1月17日(金) 13:30～16:30	発信力強化② ・伝える！動画づくり ・ワークショップ	さくら市市民活動センター スタッフ米山 百桃薫氏		16名
④1月31日(金) 13:30～16:30	発信力強化③ ・使える！ICT振り返り ・個別相談会	ほ・ほ・らスタッフ		6名

(5)社会貢献活動「見える化」促進業務

③助成金合同説明会2024

日 時: 2024年10月11日(水)13:00～16:30 会 場: ぽ・ぽ・ら、オンライン(zoom)

サテライト会場: とちぎ市民活動推進センター、佐野市市民活動センター、日光市民活動支援センター、
小山市市民活動センター、真岡市市民活動推進センター、那須塩原市市民活動センター

協力: 宇都宮市まちづくりセンター、とちぎ市民活動推進センター、佐野市市民活動センター、日光市民活動支援センター、
小山市市民活動センター、真岡市市民活動推進センター、那須塩原市市民活動センター

内 容: 助成プログラムを持つ団体から内容の説明と申請するに当たっての質疑応答を行った。また、今年度は、試行的に助成団体同士の情報交換会も併せて実施した。

説明者: とちぎコープ生活協同組合、福祉医療機構、中央労働金庫、栃木県共同募金会、とちぎコミュニティ基金

参加者: 44名

④伝える事業報告書の作り方

日 時: 2025年2月28日(金)

会 場: ぽ・ぽ・ら、オンライン

内 容: 事業報告書の目的、総会、事業報告書の作り方、事業費と管理費について、役員変更の登記等

・講座終了後に個別相談を実施した。

参加者: 11名

V 「若者わくわく座談会」

日 時: 2024年11月29日(金)18:00～20:00

会 場: 宇都宮大学陽東キャンパス

共 催: 宇都宮大学地域デザインセンター

内 容: 若者が中心となって活躍している3団体のメンバーと
各団体をよく知る若い世代の関係者により活動に参加
した動機や活動に対する思いなどをインタビュー形式
でやりとりした。また、参加者を交えて質問や感想など
を座談会形式で行った。

参加者: 22名



(6) 地域協働促進業務

地域には多様な問題が山積しているが、多様な主体（行政や企業、NPO、地縁団体等）が協働して取り組むことで、難関を乗り越えることも可能となる。地域における「協働」には、①お互いを知り信頼できること。そのためには、相互の情報を知ることができること。②相互に自由に意見交換できる場があること。などが重要である。

そこで、協働を促進するための情報発信の強化や連携交流協働の場づくりを推進する。

(6) 地域協働促進業務

①「協働」促進のための情報収集・発信

市町市民活動支援センターや社会福祉協議会、公民館等と連携し、優れたNPO活動の情報共有や協働のきっかけづくりとして「輝くとちぎの社会貢献活動デジタルブック」(仮称)を作成する。

②連携交流の場づくり事業(交流会)

市町市民活動支援センターと連携し、NPOや企業、地縁団体などをメンバーとする、協働のきっかけづくりの「交流会」を開催した。

日 時: 2025年3月1日(日)13:30~16:00

会 場: 那須塩原市市民活動センター

事例発表者: 高原林産 株式会社

ちいきカフェ円と縁／三区町自治会つながり合い活動

ファミリープラスバンドマムソウル

参加者: NPOや企業、地域団体等



③地域助け合い事業と連携したNPOとコミュニティへの当該事業に係る周知及び相談支援、横展開のための事例の収集・記録・周知

栃木県事業地域コミュニティ助け合い機能強化事業について広報周知を行った。

(6) 地域協働促進業務

④ 寄付文化の醸成のための活動への協力

ア とちぎコミュニティ基金(事業協力)

がんばるNPOと支援者をつなぐため、「寄附の窓口」と「NPOによる情報公開の促進」の2つの機能を持ち、「民が民を支える仕組み」づくりを行う事業に実施協力する。

・花王ハートポケット俱楽部地域助成審査会(一次選考)

日時: 2024年12月19日(木)

活動分野を問わず栃木県全域で「心温まる活動」「地域で必要とされる活動」を助成。

応募20団体より4団体を選出した。

イ 寄付月間(アンバサダー)活動

寄付月間団体アンバサダーに就任し、全国のアンバサダー、パートナー等と寄付文化醸成のため活動する。

9月27日(金)寄付月間2024 スタートイベント～「寄付月間」、参加することに意義がある！～(オンライン)に参加。12月からポスターを作成し交流広場に展示。また、ホームページ・メルマガ・インスタにて情報発信した。



2 NPO法人 とちぎ協働デザインリーグ事業

NPO法人とちぎ協働デザインリーグ事業

1 インターン受け入れ

社会貢献活動に参画したい若者をインターンとして受け入れ、事業を通して活動の機会を提供する

①所属:栃木県立佐野高校2年生

受け入れ期間:2024年3月~ 学校等の予定のない土曜日及び夏休み等の長期休暇

主な活動内容:貸館受付、情報発信(新着図書等)、取材補助、事業打ち合わせ及び実施時の補助等



2 「トヨタ財団国内助成プログラム公募説明会inとちぎ」の開催

認定特定非営利活動法人日本NPOセンターを通じて、標記説明会の開催依頼があり、下記のとおり実施した。企画書の具体的な事例の紹介もあり、参加者の90%から「非常に良かった」との感想が寄せられ、好評だった。

- (1) 日 時: 2024年5月17日(金) 13:30～15:20
- (2) 会 場: ぼ・ぼ・ら
- (3) 参加者: 18名
- (4) 講 師: 公益財団法人トヨタ財団
　　プログラムオフィサー 武藤 良太氏、鷺澤なつみ氏
- (5) 来 賓: 認定特定非営利活動法人日本NPOセンター
　　事務局長 吉田 建治氏
- (6) 内 容: 同プログラムのうち、「地域における自治を推進するための基盤づくり」についての説明及び個別相談会



NPO法人とちぎ協働デザインリーグ事業

3 コーディネーション力強化

企業や市民からの相談・要望等に対して、適切にコーディネートを行うため、分野ごとの団体情報を収集し、年次的に整理していく。

(2022～2023年度：自然環境活動)

栃木県域82団体の情報を収集した、「とちぎ自然環境 活動団体82マガジン」A5/フルカラー/78Pの冊子を編集。初版4000部を発行し県内小中学校、高校、大学、公民館、企業団体、行政機関、図書館、活動団体等に配布すると同時にホームページで公開し、環境らしんばん・メディア・CANPAN・イベント等で情報提供。

【2024年度実施内容】

(1)掲載団体交流会の開催

日 時：2024年6月10日(月)13:00～15:30

会 場：ぼ・ぼ・ら

参加者：掲載団体等30名

内 容：掲載団体等の横のつながりを育むため、団体紹介を1対1で行えるよう工夫し実施した。

(2)環境マガジン掲載団体との連携

環境マガジン掲載団体、とちぎ子ども自然体験活動ネットワークが参加する、

「とちぎの環境と子どもの未来を考える会」～子ども×自然×体験の可能性を探る～

(主催：環境省関東地方環境事務所)への参加。第1回2024年7月11日(木)、第2回2024年9月24日(火)。

(上記関連)「地球環境基金」に関するヒアリングへの協力 2024年9月24日(火)

独立行政法人環境再生保全機構が実施する「地球環境基金」の新たな助成メニュー「戦略プロジェクト・地域協働型」に関する地球環境基金からの説明及び意見交換。とちぎ子ども自然体験活動ネットワーク構成3団体と共に参加。

【予定と課題】

- ・栃木県内の環境をテーマとする組織との更なる連携、協働の模索
- ・次の取組分野の検討



NPO法人とちぎ協働デザインリーグ事業

4 社会教育主事講習連携事業

宇都宮大学が実施している社会教育主事(以下「社教主事」)講習において、社会教育演習で「自治会の役員に聞き取り調査を行い、地域ごとの取組の現状への理解を深め、現状レポートとしてまとめる研修」が行われる。

この実施にあたってNPO法人とちぎ協働デザインリーグ(以下「リーグ」)あてに協力要請が来ている。リーグとしては、市町市民活動支援センター(以下「市町センター」)と社教主事との連携のきっかけづくりに資するものであることや地縁型活動への知見を深めることができることから、市町センター等と連携し、職員派遣し、協力する。

文部科学省主催、宇都宮大学実施の社会教育主事講習(7月22日(月)~(8月8日(木))のうち8月2日に実施した、自治会役員への聞き取り調査に係る、市町センターへの協力依頼から当日の実施に係る部分を大学・市町センターと協力して実施した。

- ・日 時:2024年8月2日(金)
 - ・会 場:宇都宮大学及び市町センター
 - ・協力センター:足利市市民活動センター、かぬま市民活動広場、真岡市市民活動推進センター、下野市市民活動センター、さくら市市民活動センター、那須塩原市市民活動センター、他協力者2名
- AM:県内各センター(概ね教育事務所単位)での聞き取り調査・演習のフォロー
PM:聞き取り内容のまとめのフォロー



NPO法人とちぎ協働デザインリーグ事業

5 NPO事務力検定の実施

全国NPO事務支援カンファレンス主催の事務力検定について、栃木県での受験が可能となるようにNPO法人宇都宮まちづくり市民工房と共に実施する。今年度から開催に係る要項等の見直しあり。

- ・日 時:2025年2月7日(金)
- ・会 場:宇都宮大学
- ・参加者:7団体6名

6 とちぎコミュニティ基金(事業協力)

がんばるNPOと支援者をつなぐため、「寄附の窓口」と「NPOによる情報公開の促進」の2つの機能を持ち、「民が民を支える仕組み」づくりを行う事業に実施協力する。

- ・冠ファンド助成「花王ハートポケット俱楽部地域助成(栃木地区)」の実施
- ・冠ファンド助成「たかはらこども未来基金」の実施

7 寄付月間アンバサダーへの就任

寄付月間アンバサダーに就任し、全国のアンバサダー、パートナー等と寄付文化醸成のための広報を行う。

8 講師派遣

リーグ役職員の知識やノウハウを活かし、要望に応じて講師派遣を行う。

(1) 下野市自治会長交流研修会

日 時:2024年9月6日(金)10:00～12:00、9月7日(土)13:30～15:30

会 場:下野市役所3階会議室

参加者:6日40名、7日34名

講 師:三橋理事長

内 容:各自治会の現状や課題、活動事例といった情報の他、悩みや不安などを自治会長同士で共有することで自治会活動の参考とし、もって自治会活動の活性化を図った。

NPO法人とちぎ協働デザインリーグ事業

(2) みんなのまちづくり交流サロン(足利:再掲)

足利市役所・同市民活動センター共催事業として、昨年度、ぽ・ぽ・ら事業で実施した交流会を地域版として実施した。ノウハウ移転のため、実施主体を足利市及びセンターに移行しつつ実施した。

日 時: 2025年2月8日(土)13:30~16:30

会 場: 足利市生涯学習センター

参 加 者: 20名

講 師: 町田常任理事、黒田コーディネーター

内 容

- ・2024年度に、ぽ・ぽ・ら主催により実施した交流会のノウハウを、足利市(及び足利市民活動センター)が上手く継承し成功していた。
- ・発表の2団体とも目的が明確で、学校や地域等との協働により活動の幅を広げており、大変参考になる事例だった。
- ・特に印象的だったのは、「なければ自分たちで作る」「大谷効果で学童くらぶが空前の野球ブーム」「活動している自分たちが楽しい」等。「つながりを求める」意識が高く、意欲的な参加者が多かった。
- ・今後、足利市でサロンが定着していくことを期待したい。



9 情報発信

リーグホームページやブログ、フェイスブック、インスタグラムの運用及び「リーグファイル」を作成し、調査研究等で得た情報を提供する。

- ・「とちぎ自然環境活動団体82マガジン」をリーグホームページに掲載し、広く広報している。

10 職員研修

スタッフの資質向上を図るため、各種研修等に積極的に参加する。

NPO法人とちぎ協働デザインリーグ事業

11 法人運営

(1) 常任理事会の開催

2024年4月30日(火)、2025年1月9日(水)

(2) 監事の監査

2024年6月12日(水)

(3) 理事会・総会の開催

①第1回理事会・総会

2024年6月18日(火)

- ・2023年度事業報告・決算報告

- ・2024年度事業計画(案)・活動予算書(案)

- ・役員の改選(案)

- ・定款の変更(案)

②第2回理事会

2024年6月18日(火)

- ・役員の改選(案)

③第3回理事会

2024年10月24日(木)

- ・2024年度上期事業報告・下期事業計画(案)

- ・定款の変更(案)

④第4回理事会

2025年3月25日(火)

- ・2025年度事業計画(案)・予算(案)

- ・主たる事務所の変更(案)

- ・パートタイム職員等就業規則の全部改正(案)

- ・育児・介護休業等に関する細則の一部改正(案)

